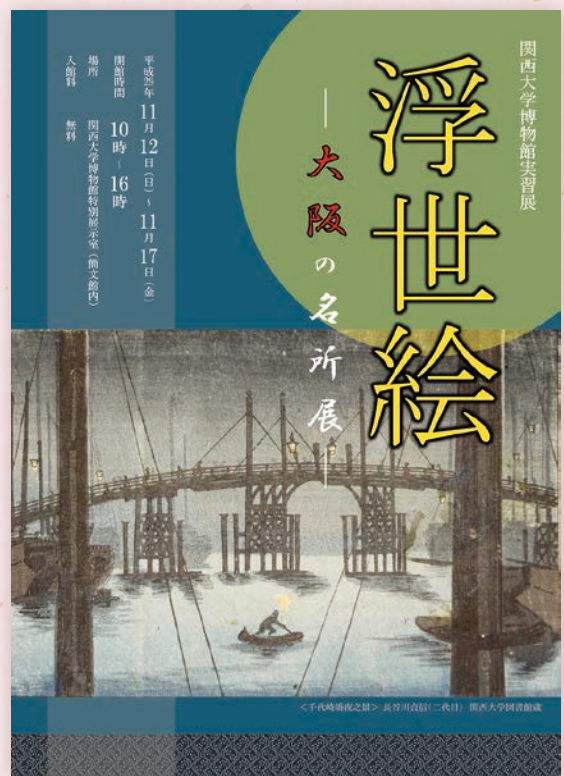


# 2017年度 関西大学博物館実習展

11月12日(日)~11月17日(金) 開館時間: 10時~16時  
関西大学博物館特別展示室(簡文館内)

入館料  
無料



# 2017年度 関西大学博物館実習展

11月12日(日)~11月17日(金)

開館時間:10時~16時

関西大学博物館特別展示室(簡文館内)

入館料  
無料



## イノシシと共に生きる人々 - 篠山を舞台に -

皆さんは「イノシシ」に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。害獣? 干支? 山の動物? 兵庫県篠山市では、イノシシに農作物を荒らされるなどの被害を受けている反面、狩猟が盛んに行われ、獲った猪肉を使った「ぼたん鍋」を観光資源として上手く活用しています。実は、昔から人間とイノシシは身近な存在だったのです。

私たちは、イノシシと生きる人々に注目、篠山を訪れ取材を重ねました。本展では、取材の中で見えてきたイノシシを取り巻く人々の姿を紹介していきます。展示を通して、一人でも多くの方にイノシシと人々の様々な交わりについて知っていただくと幸いです。

## なにわの観光 お伊勢参りから名所巡りへ

江戸時代末期、日本では伊勢参拝、いわゆるお伊勢参りが盛んになりました。人々は信心深く現世利益を求めて参拝しましたが、その一方で、参拝のついでに京都や大坂といった名所の観光を楽しむ人々も少なからず存在しました。

現代において大阪、その中でも特に“なにわ”と呼ばれる地域は日本でも有数の観光都市となっています。では、私たちが生まれるずっと前のなにわはどうだったのでしょうか?

本展では、「お伊勢参り」と「鉄道開通以前のなにわの名所」、「鉄道開通後のなにわの名所」、旅を締めくくる「お土産」の4つのテーマから、当時のなにわの観光について概観します。



## 今日に生きる安倍晴明 古より語り継がれる姿

安倍晴明は、陰陽師として広く知られており、陰陽寮の役人としての業務だけでなく、貴族の個人的な占いや祭祀にも従事したと伝えられています。

皆さんが晴明に対して抱くイメージは、都の異変を占いで予知し、物の怪を呪術で退治するある種超能力者のようなものではないでしょうか。これには、後世に晴明が神として祀られ、彼に対する信仰が興ったことや、晴明伝説の集大成といえる『泉州信田白狐傳』などの創作作品が生み出されたことが関係しています。

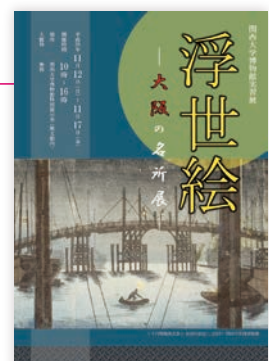
今回の展示では、後世に生み出された文学作品などから、私達の中にある「晴明像」のルーツについて、時代を追って探ってみたいと思います。

## 浮世絵 -大阪の名所展-

浮世絵と聞くと、江戸の文化をイメージする方も多いと思います。しかし、実際には大阪、つまり上方でも大変な人気を博し、数多く出版されていました。長谷川貞信は上方を代表する絵師として、五代に渡り活躍しています。

本展では、その中でも最も人気があったとされる上方浮世絵の巨匠、二代目長谷川貞信(1848-1940)の代表作『大阪名所』から「天保山夕景」、「千代崎夜之景」、「大阪鎮台」などの作品を展示し、風景画とそこに描かれた土地の意味について紹介していきます。

江戸時代から続く文化や景色と、近代化する街並みが共存していた明治の大阪を、「浮世絵風景画」からご覧ください。



## 関西大学博物館

関西大学千里山キャンパス 簡文館内

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 TEL : 06-6368-1171

http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/

E-mail : hakubutsukan@ml.kandai.jp

■アクセス 関西大学千里山キャンパス 阪急千里線「関大前」駅 徒歩10分

